

公共交通グランドデザインの改定について

1. グランドデザイン改定のポイント

基幹公共交通軸の強化



▲超低床電車

○定時性、速達性、大量輸送など公共交通の高いサービスを提供することで、自家用車からの転換を促します。

バス路線網の再編



▲幹線バス(国道3号線)

○バス事業者の枠を越えた路線網の再編をすすめ、利用者のニーズに沿った利便性の高い持続可能なバス路線を実現します。

公共交通空白・不便地域の解消

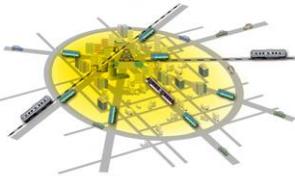


▲コミュニティ交通の例(予約型乗合タクシー)

○バス路線等でカバーできない地域は、地域と連携し、コミュニティ交通を導入し、日常生活に必要な移動手段を確保します。

ベストミックスの構築

— 放射環状道路等 ● 公共交通利便向上エリア



▲公共交通利便向上エリアのイメージ

○地域特性に応じて、公共交通と自動車交通を効率的に組み合わせ、利便性の高い交通体系を構築します。
○特に、交通が集中する市街地において、公共交通を主体とした交通体系を構築します。



公共交通利便向上エリア

○改定のポイント

これまでの「基幹公共交通の強化」、「バス路線網の再編」、「公共交通空白・不便地域の解消」の取組を発展



- 公共交通と自動車交通の**ベストミックスの概念**を追加
- 市街地部に**公共交通利便向上エリア**を設定

2. 第2回グランドデザイン改定部会でのご意見の反映

ご意見概要

■公共交通の利用促進のためには、自転車の活用方法についても記載が必要。

■市街地部を公共交通主体にしていくためには、公共交通に転換することによる市民のメリットを示すことが必要。

■グランドデザインは行政と市民が共有する将来像であるため、市民目線でわかりやすい構成とすることが必要。

グランドデザインへの反映

■公共交通の将来像における自転車の活用例として、施策展開イメージにて「サイクル&ライド」を記載。

■公共交通に転換することによる市民のメリットを個別に描くことで、移動しやすく暮らしやすいイメージをよりわかりやすく提示。

■再掲箇所等を省くなど、シンプルでわかりやすくなるように全体を再構成。

3. 今後の展開

- 市政だより、熊本市ホームページ等により、公共交通グランドデザイン改定について周知。
- 公共交通利用促進キャンペーン等の場を活用し、公共交通グランドデザインについて周知・啓発。